

第51号
 発行日：平成24年5月10日
 発行所：
 東京青山同窓会事務局
 〒107-0062港区南青山
 3-18-4-304
 (有)ジェイ・クラブ内
 TEL. 03-3423-3591
 発行者 池 一

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—
 1口 / 1,000円 2口以上(年間)
 会計幹事：佐藤 茂 (77回)
 振込先：三菱東京UFJ銀行・
 江戸川橋支店
 普 1170247 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成23年度 東京青山同窓会総会 報告

平成23年11月11日(金) 於：ANAインターコンチネンタルホテル東京 野口俊介・84回

さる11月11日、平成23年度の東京青山同窓会総会が、首都圏のみならず新潟や遠くはドイツから総勢90余名の参加により盛大に開催されました。

東京青山同窓会の猪口孝会長(70回)のご挨拶により総会を開会し、会務および会計報告のあと、来賓として青山同窓会の長谷川義明会長(61回)にご挨拶を頂きました。ご挨拶の中で、先の大震災で被災した仙台にも青山同窓会が発足したことなどのご紹介や、創立120周年記念事業の準備状況についてのご説明がありました。120周年記念事業では、記念式典の他、最新式プロジェクターの導入など教育設備の拡充も行う予定であり、新潟高校の学習環境が一段と向上するものと期待されるとのことでした。また、3,000万円の募金目標が達成できるよう、同窓生の皆様方のご協力をお願いしたいとの要請もございましたので、今年度の総会に参加できなかった皆様にも本報告にてお伝えしたいと思います。

続いて、大滝祐幸校長より、母校の近況についてのご説明がありました。現在、真理追究・自主自立・社会貢献を教育目標に掲げて教育にあたられており、生徒たちは、勉学及び部活動において、それに応える成果を挙げているとのこと。特に、部活動では、フェンシング、ボート、陸上競技などの運動部の活躍に加え、将棋の高校竜王戦での優勝や高校生クイズ選手権でのベスト8進出など目覚ましい実績をあげているとのことであり、頼もしい後輩達が育っていることが良く解りました。

懇親会は、今年、卒寿を迎えられた富所強哉先輩(46回)のご発声による乾杯にて幕を開け、途中、110周年トークショーや1975年の青陵祭などの映像で新潟高校の歴史を振り返りつつ、旧友と杯を重ね、昔話に華を咲かせました。会の締め括りの校歌斉唱・応援歌合唱では、100回生以降の若手が壇上に登り、某84回生の熱い指導を受けつつ見事に取り仕

切りました。懇親会の後は、多数の参加者が恒例の二次会に移行し、夜が更けるのも忘れ、同級生との語らいや先輩・後輩の世代間交流を大いに楽しみました。

さて、来年は120回生を東京に迎えることとなります。記念すべき年の総会が今年以上の盛会となるよう、皆様方の積極的なご参加(できれば120名の参加といきたいものです)をお願い申し上げます。

平成22年度決算および23年度予算

(H23.11.11)

単位：千円

収入の部	費目	22年度決算	23年度予算	備考
	前年度繰越金	782	246	
	年会費	1,495	1,550	800名
	総会会費	828	900	
	新人歓迎会・講演会費	689	800	
	本部補助金	500	500	
	雑収入	0	0	
	合計	4,295	3,996	

支出の部

支出の部	費目	22年度決算	23年度予算	備考
	総会費	1,051	1,000	
	新人歓迎会・講演会費	993	950	
	事務局費	90	100	
	会議費	10	50	
	通信費	639	650	
	印刷費	1,193	500	会報年2回発行
	振替手数料	72	75	
	次年度繰越金	246	671	
	合計	4,295	3,996	

注：22年度 H22.10.1~H23.9.30
 23年度 H23.10.1~H24.9.30



会長挨拶

東京青山同窓会会長 猪口 孝 70回



新人の皆さん、東京青山同窓会に歓迎します。今年は昨年が続いて大変な年になりそうです。とりわけ重要なのは県立新潟高校の120周年記念の年です。

これまでの新潟高校の伝統を継ぎ、愛郷心をもって東京で頑張る皆さんを会員一同歓迎します。

東京青山同窓会はその活動の濃密さで有名です。これからも都合のつく時に気軽に参加してください。東京での生活は大変な側面もありますが、段々慣れて工夫と努力でむしろ楽しいものになります。

難しさを克服していく時に、パリ市役所に書かれている文句は新入生のためになると思います。原文を勝手に訳すと、次のようになります。セーヌ川は物を運ぶために下流から中流のパリまで舟を漕

ぐ人のためのものです。寒い風が身を切るなかで、流れに逆らって舟を漕ぐことは大変な力を必要とします。あまりの辛さに流れに任せて、つまり流されてしまうこともできます。それを仲間と踏ん張って漕ぐうちに、漕ぐ力がつくのです。それが大事なのです。

何事も一歩を踏み出すことによって力量の増強を図ることができるのです。そうすることによって、自分の力量を高めること、エンパワメントを図ることが大学在学中の最大課題です。皆さん、東京はそれを許す多様な都市です。多くの機会を与える都市です。

新人歓迎会でおいしましょう。

青山120周年記念事業に寄せて

青山同窓会会長 長谷川義明 61回

今年は母校創立120周年という記念すべき年であります。明治25年7月に県内最初の県立尋常中学校として設立され、爾来約4万人に上る多くの人材を世に送り出して参りました。

多くの分野で、国内のみならず世界に羽ばたいている同窓生も枚挙の暇が無く、現役の生徒たちも文武両道の校風を受け継ぎ、学業に、スポーツ、文化活動に立派な成績を上げております。

同窓会としてもこの120周年を記念して、学校当局やPTAと共同でいくつかの記念事業を企画して居ります。主な事業としては、100年史に次ぐ120年史の編纂および110周年に次ぐ同窓会名簿の編

纂があります。いずれもこの時期を逃すと資料の分散などにより継続が困難になるものです。

学校の教育環境向上のため各教室に電子機器によって教材の映像が映しだされる新しいシステムの導入を図ります。教科書のみでなくこのような資料の提示によってさらに学習効果を上げようとする新しい試みです。記念式典(10/20)における大阪大学名誉教授神林恒道氏の講演やパリの国際コンクールで優勝された石丸由佳さんのパイプオルガンの演奏も楽しみです。これら事業に必要な資金として3000万円の寄付金募集の目標を立てて居りましたが、お陰さまで3月末には

目標を達成することが出来ました。同窓生各位の母校への愛情に深く敬意と感謝を申し上げます。

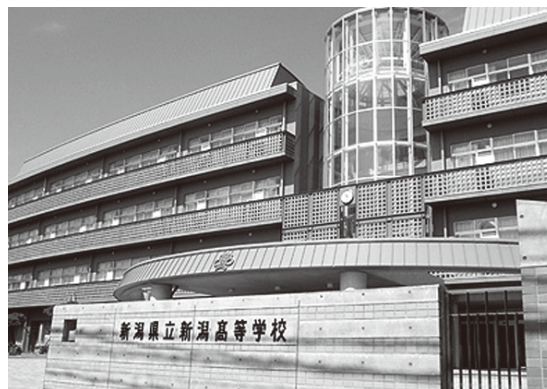
同窓各位の一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

2012年度総会：7/12(木)
120周年記念式典：10/20(土)



【母校沿革】

- 1892年(M25) 7月1日 新潟県尋常中学校として創立。
- 1899年(M32) 4月 新潟中学校に改称。
- 1900年(M33) 4月 新潟県新潟中学校に改称。
- 1901年(M34) 8月 新潟県立新潟中学校に改称。
- 1948年(S23) 4月1日 学制改革により新潟県立新潟高等学校となる。普通科、通信制を設置。
- 1950年(S25) 4月1日 男女共学開始。
- 1966年 昭和41年度入試より中学区制へ移行、入試教科を9教科→5教科へ変更。
- 1992年(H4) 創立100周年記念式典挙行。
- 1995年(H7) 4月1日 65分授業開始、2学期制導入。理数科を設置。
- 1997年(H9) 校舎改築に伴い仮校舎に移転・旧校舎取り壊し開始。
- 1999年(H11) 新校舎竣工、移転作業。
- 2002年(H14) 創立110周年記念式典挙行。
- 2006年(H18) 3月31日 通信制を閉課。
- 2006年4月1日 普通科8学級・理数科1学級となる。



64回生東京同期会

川崎明・坂井敏

事務局の二人がマンション7階川崎幹事宅で今年の同期会案内状往復ハガキに一言ずつ添え書きをしている最中にグラグラッと来た。東日本大震災の始まりだった。その後の地震津波原発の推移はご承知のとおり。私共にとって一生忘れられない出来事となった。

その後同期の皆さんから大きな被害を受けたという報告はなく今年も盛大に同期会を開催できた。6月1日(水)午後1時、場所は有楽町駅前ニュートーキョー

9階「ラ・ステラ」。銀座にも近く集合に便利という事で昨年から使うことになった。当初50名の出席回答があったが、会が近づくにつれて仕事上の急用発生、体調崩した等の理由で欠席が出て43名の出席となった。今年も昨年の会以降5名の方の逝去が判明した。三国六郎、田中勝男、和田明夫、田中恒夫、山際哲雄諸氏のご冥福を全員でお祈りした。

『直木三十五伝』等で受賞された植村鞆音君が新著『気骨の人城山三郎』を扶桑社から出版された。書名入りで10冊持参して頂き有志に購入頂いた。全国書店に置いているので是非手に取って頂きたい。

和やかな談笑で盛り上がっているところで恒例となった自己紹介をかねた1人1分間スピーチが始まり、それぞれ近況や趣味、健康等を披露された。ただ50名近い出席者の立食スタイルの中ではマイクの発言とあちこちでの歓談との混線、この調整は頭の痛いところである。

今年の誕生日で74歳を迎える私たち64回生「いつ何が起きてもおかしくない年代」という実感がますます強くなって来たが、来年もこの時期「元気で又会えたなあ」と言い合えることを誓って3時間の宴会を締めくくった。



東京青山玲瓏会ゴルフ

遠藤治一 64回

2012年4月13日(金)、第15回東京青山玲瓏会ゴルフが、総成カントリークラブで総勢12名の参加を得て催行されました。

寒暖定まらぬ今春、開花が遅れていたコースの桜が、この日まさに満開。あたたかみ我々の訪れを待ちわびた佳人が、最高潮の麗姿をもって出迎えてくれたかのような絶好のゴルフ日和。桜吹雪を浴びながら、創校120周年の縁に連なる同窓の集い、爛漫の春を和気藹々ダブルペリア競技で、共に楽しく堪能しました。

今回は、春季大会としては、昨年3/11の東日本大地震発生の為、取り止めたため、一年ぶりの会合となり、(60期)小林満さんから(69期)岡田尚子にかかる世代の同窓会ゴルフとなりました。

玲瓏会発足以来、会の中核を担って来られた61期(安宅久憲さん、竹尾昇さん、村山健さん)の方々と、最強の軍

団68期(村山隆男さん、渡辺千艦さん、渡辺公夫さん)に囲まれたような形で、63期津久井保さん、64期(高橋正幸さん、藤田昇三さん、遠藤)の顔ぶれでした。優勝は、渡辺公夫さん。

第9回以来、61期金子章さんから引継ぎ、事務局幹事を担当して参りましたが、次回の16回から、64期村山隆男さんに担当交代して頂くことになりました。村山隆男さんは、今回は準優勝、第10回から13

回まで、4大会連続優勝の猛者です。

我が「青山玲瓏会」が、今年、創校120周年、「青山同窓会」東京支部のゴルフ分科会として、「玲瓏の天を仰ぎ、古き誇りを新しく」、新潟中学校、高等学校と続く、母校の歴史と伝統を共にして、新たな将来と発展を遂げることを、大いに期待したいと思います。

後列：遠藤、小林、村山健、高橋、渡辺公、岡田、渡辺千
前列：竹尾、安宅、津久井、藤田、村山隆



保莉実の遺志を継ぐ

保莉由紀 94回

2004年5月、98回卒である弟・保莉実が悪性リンパ腫のためオーストラリアにて32歳でこの世を去りました。

弟は高校卒業後、一橋大学経済学部で学士・修士号、2001年にオーストラリア国立大学で博士号を取得し、先住民アボリジニ研究をする歴史学者としての人生を歩み始めた矢先のことでした。2003年夏には新潟日報で「生命あふれる大地：アボリジニの世界」という連載をもち、2004年9月には亡くなる5日前に原稿を仕上げた彼の処女作である『ラディカル・オーラル・ヒストリー：オーストラリア先住民アボリジニの歴史実践』（御茶の水書房）が出版されました。



文化人類学者のフィールドワークという手法をとりながらも、歴史学者として、神話やメタファーと片付けられがちな、「史実」とはかけ離れた先住民側からの歴史語りに注意深く耳を傾けた彼の、文章という形の語りは、研究者だけでなく一般読者にも温かく、そして鋭く訴えかけます。おかげさまで、学術書としてロングセラーの地位を確立し、多くの大学で教材として読まれています。

そして、2011年5月に現地オーストラリアが首を長くして待っていた“Gurindji Journey: A Japanese Historian in the Outback” (UNSW Press) をついに出版することができました。「日本人が、アボリジニの歴史観を『内側から』書いた」と、その独創性は高い評価を受けています。

弟は、九ヶ月間の闘病中、世界中にいる友人と「関係は相互的であったほ

うがいい」「人とのつながりのなかで今の僕があり、今の僕がささえられています」と最後までメールで交信を続けました。そして、その彼の言葉に呼応するかのよう、オーストラリア国立大学が先住民史を専攻する世界中の若手研究者を対象とした「保莉実記念奨学基金」(郵便振替口座00500-2-41246)を設立しました。「人生は長さではなく深さだ」と言い、32年の人生に納得して逝った弟です。その短く深い人生に、この奨学基金を末永く残すことで「長さ」も与えてやろうと、「保莉実とつながる会(www.hokariminoru.org)」を設立し、保莉実写真展の巡回と図録の販売を初めとする、様々な企画を通じて、寄付集めに奔走しています。

私の書くこの原稿が、「多くの人とながってほしい」と最期の瞬間まで望んだ保莉実という人間を知っていただくきっかけになればと切に願っています。そして、そこからまた新たなつながりが生まれることを彼自身も私達家族も望んでいます。

「保莉実記念奨学基金」への寄付はこちらから（日本国内の窓口）

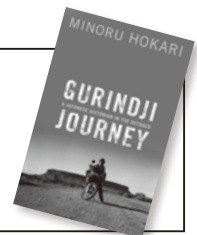
①【郵便振替口座】00500-2-41246

②【ジャパンネット銀行口座への振込方法】

ジャパンネット銀行（銀行コード0033）／本店営業部（ホンテン）（支店コード001）

普通預金口座番号 3708074 / 受取口座名義 ホカリノブオ

*詳しくは公式Webサイトをご覧ください。http://www.hokariminoru.org/indexjp.php



出版報告『開港場／新潟からの報告』

青柳正俊 87回

「新潟は開港五港の一つで、国際的な拠点都市としても長い歴史がある」と時に誇らしげに語ることもある私たち新潟県人も、実際に開港した新潟で何が起ったか、伝えうることは実は少ないのではないかと。地元に残る当時の史料が少ないのだから、それも無理からぬことなのである。

新潟県庁で国際交流に長く携わってきた行政職の私は、二年前に歴史博物館勤務となったことを機会に、以前から気になっていた開港初期の新潟港について調べ始めた。そしてこれらを詳しく知ることができる斬新な史料に出会い、広く紹介する価値があると考えた。

本書の主要部分は、当時新潟に駐在した英国領事が本国に伝えた年次報告書の訳出である。加えて、当時の英国外

交官の新潟に関する往復公文書類を逐一調べ、領事館の設置から閉鎖までの約十年にわたるいきさつを著述した。いずれも、私が休日を利用して横浜開港資料館に通って資料探索した成果である。

読者は、まず新潟港の潜在力に対する領事らの高い評価に驚かされるだろう。港と町の賑わい、発達した内陸水運、周辺地域の資源の豊富さ、さらには当時人口日本一を誇った越後のマーケット。だが、その期待が満たされる日は一向にこない。河口港に宿命の水深の浅さや、荒天時に安全に風避け・波除けできる停泊地がないことから、大型外国船の出入りは稀となり、外国商人たちは次第に新潟港を見限っていった。港での出来事に乏しい新潟で、領事らは新潟町や越後・佐渡の産業、社会生活全般にも広く目を

向けて報告を行っている。自らの現地踏査の様子や、新潟で出会ったエピソードも豊富に描かれている。往時の様子がまざまざと眼に浮かぶ。

郷土史の専門の方々から、こうした地道な史料発掘こそ意義深い、と評価いただいたことが嬉しい。この本が、新潟港の歴史と新潟の国際交流の原点を知るための一助となることを願っている。



『開港場／新潟からの報告－イギリス外交官が伝えたこと－』 考古堂刊

訳・編・著：青柳正俊
東京外国語大学ドイツ語学科 卒業／在ミュンヘン日本国総領事館 副領事／新潟県庁国際課 政策企画員
現在：新潟県立歴史博物館 副館長／新潟日独協会 理事

母校野球部の関東遠征

星野紹英 84回

■3月30日(金) (於神奈川県慶應高校)
対慶應高校 2-21 / 対大宮西高 11-13

■3月31日(土) (於埼玉県坂戸西高校)
対坂戸西高 12-29 / 対小川高校 9-9

3月31日は、東京地区の桜の開花宣言があった日。この日私は母校野球部の関東遠征の試合観戦をした。結果は開花宣言とはほど遠く、観戦できなかった前日と併せて計4試合の結果はご覧のとおり。母校野球部の桜は開花せず…、といったところだが、この日だけでも2本のホームランを打つなど、今後に向けて期待を感じさせる場面もあった。

今回の関東遠征の発端は2年前の2010年に遡る。ご記憶の方も多と思われるが、「新潟高校『21世紀枠』で初の甲子園出場確実!」とまで下馬評では噂されたものの結果は落選。もし出場となれば東京地区での後援組織の立ち上

げが必要と、周辺在住の野球部OBの間では人事を含めて具体的に準備を進めていた。が、それも虚しく空振りに終わる。

でも、せっかく盛り上がったこの動きを全くのゼロに帰してしまうのも勿体ない、とその後細々ながらも活動を継続。1つは臨時コーチの依頼。かつて慶應大学野球部の監督を務め、現在は70過ぎのご高齢ながらも大学野球界の重鎮を担い、かつ大学や高校でも指導を続けている榊原敏一先生に、伝を頼って依頼し了解を得る。以後年2～3回程度新潟に出向き、練習試合の観戦及びご指導を仰ぐ。それと並行して話題に出ていたのが「関東遠征」。東京地区の強豪チームと試合を組みチーム強化の一端してもらおうこと。その結実が今回の関東遠征。やはり榊原先生のご関係で、最近も甲子園出場経験のある神奈川県の慶應高校との試合が実現したと聞く。この試合を中心に冒頭の4試合がセットされた。

私は2日目のみの観戦であったが、私

事ながら思い出してしまったことがある。5年前の夏、長男が所属する埼玉県内の高校野球部が新チーム合宿を張った六日町で直江津高校と初の練習試合。それが1-19の大惨敗。開始早々、思わずネット裏から罵声に近い怒鳴り声を発してしまう。しかし、そのチームが1ヶ月も経たないうちに、今回の相手チームの1つでもあるシード校の常連大宮西高を相手に延長12回のサヨナラ勝ち。その番狂わせ振りは、次試合のチームが5回又は7回のコールドを予定してアップをしていたところ、それが12回まで纏れたため完全に体調を狂わせたという。秋大会のシード決め大会の1回戦であったがそのまま3連勝してシード権獲得。大惨敗から1ヶ月も経たないうちのこの結果。今回の遠征と間もなく開幕する春大会、という状況と重なる。5年前の出来事を私事にとどまらせることなく、後輩には是非これを超える戦い・活躍を期待したい。

3月31日の第2試合は7回同点に追いついたところで、「午後からは『春の嵐』という天気予報どおりに突然襲ってきた大暴風雨のため試合終了。今回の関東遠征のスコアは正にこの春の嵐のよう。しか〜し、今度『春の嵐』を巻き起こすのは君たちの方だ! 春大会での健闘・活躍を約束してくれ! 会報発行時には大会は終わり結果も出ている…。いやいや、それよりもっと大切な甲子園予選での『夏の大旋風』を期待する。



出版報告 『慢性うつ病は必ず治る』 『「勝ち組」の男は人生で三度、挫折する』

緒方俊雄 84回

2009年度日本産業カウンセリング学会の学術賞を受賞したご縁で、『慢性うつ病は必ず治る』(幻冬舎新書)と『「勝ち組」の男は人生で三度、挫折する』(中公新書ラクレ)を出版しました。

『慢性うつ病は必ず治る』は慢性うつ病を治す方法を独自のうつ病のモデルとカウンセリングのロードマップを提案し、8人の事例にもとづいて説明しました。Amazonベストセラーランクのストレス・心の病気で1週間1位獲得しました。

『「勝ち組」の男は人生で三度、挫折

する』は、多くのカウンセリング経験から、生き方を変えることにより挫折しない人生を送る処方箋をまとめたものです。

昨年7月からSOTカウンセリング研究所として独立し、カウンセリング、企業のメンタルヘルス対策、講演・研修を行っていますので、お役に立てることがあればご連絡下さい。



緒方俊雄 ogata@sot-lab.jp
SOTカウンセリング研究所 所長
臨床心理士・産業カウンセラー



平成24年 新人歓迎会・講演会のご案内

日時

平成24年6月22日(金)
受付開始:午後6時
開会:午後6時30分

会費

一般:8,000円
女性:6,000円
大学生:3,000円
新人(120回生):2,000円

会場

ANAインターコンチネンタルホテル東京
港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111(代)

プログラム

◇新人歓迎会◇

旧3年の担任教諭がご出席予定です。

◇講演会◇

講師:田崎正巳(84回)

◇懇親会◇

着席buffet

120回卒・新人の皆様へ

新住所の届けのなかった方については自宅へご案内を送付しました。転居先のご連絡を事務局までお寄せ下さい。【事務局FAX.03-3423-1692、mail:kusakabe@moon.email.ne.jp】

講師紹介

田崎正巳(84回)

【講演テーマ】

「経済成長率ナンバーワンのモンゴルと新興国の若者気質」

【略歴】

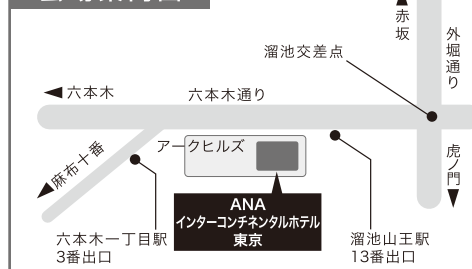
一橋大学卒。味の素、ボストン・コンサルティング・グループ(BCG)を経て欧州の投資会社に入りアールジャパン株式会社を設立し、同社代表取締役としてプライベート・エクイティ(PE)ビジネスを展開。企業買収及び企業経営を手掛ける。その後、ATカーニーヴァイスプレジデントを経て、経営コンサルティング会社STRパートナーズを設立、代表に就任。現在に至る。

2006年～08年/グロービス経営大学院研究科長・教授

2008年～10年/モンゴル国立大学経済学部教授



会場案内図



120回生・新人の皆さん
お待ちしております!!

最寄り駅

銀座線・南北線【溜池山王駅・13番出口】
南北線【六本木一丁目駅3番出口】
路線バス
都01系統/新橋駅～渋谷駅
【赤坂アークヒルズ前】下車

予告 本年度の総会は平成24年11月9日(金)の予定です。(幹事学年:64回)

同窓会のHP

◇青山同窓会◇

http://www.geocities.jp/niigata_aoyama/

◇東京青山同窓会◇

<http://www.tokyo-aoyama.org/>

■ 訃報 ■

H23年10月～H24年3月の期間に事務局にお知らせいただいた方々です。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 小堺正実(44回・H23.9.21) | 大井忠史(60回・H22.6.23) |
| 富所強哉(46回・H24.2.6) | 笹川薫(60回・H22.9.1) |
| 阿部東(49回・H21.11月) | 大倉茂男(61回・H22.9月) |
| 佐藤剛一(50回・H23.10.17) | 加藤隆策(62回・H23.9.13) |
| 新谷久男(53回・H22.11月) | 會正之(63回・H23.11.1) |
| 小田莊一(56回・H22.秋) | 田中勝男(64回・H22.4.28) |
| 真保興介(56回・H23.12月) | 西垣昭(64回・H16年) |
| 高原哲雄(56回・H23.8.29) | 堀川信男(64回・H24.1.22) |
| 成田順治(56回・H15.1.5) | 三國六朗(64回・H22.4.4) |
| 坂井勝也(58回・H8) | 羽生俊夫(74回・H23.10.8) |

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

偶数月第二火曜日の会

平成24年の予定 6/12・10/9・12/11 (兼忘年会)

平成25年の予定 2/12 (兼新年会)・4/9・6/11・10/8・12/10 (兼忘年会)

毎回定時19時より◇日本海庄や(赤坂通店) 港区赤坂3-13-7 Tel:03-3586-5003

場所も時間も固定です。ふらりとお立ち寄りください。

東京から新潟市を応援しよう!

新潟市サポーターズ倶楽部が
会員を募集しています。

■申し込み先■

【新潟市東京事務所】

102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1

日本都市センター会館9階

TEL.03-5216-5133 FAX.03-5216-5134

ncsc@niigata-city-sc.jp

HPから入会できます。

<http://www.city.niigata.jp/info/ncsc/>

※ 入会金・年会費無料

住所リスト出カサービス

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたくけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを出力してお届けいたします。

ご希望の卒業回数を明記し、代表者の連絡先・送付先を書き添えて事務局宛FAX.をお送りください。

FAX. 03-3423-1692 (H下部・82回)

■住所リスト1学年/3000円■

東京青山同窓会会報

一筆啓上

～ H23 年度の総会への出欠はがきと会費振込用紙、メールに添えられた主なメッセージです。～

- 43回・徳重茂 / 考えるところあり、会費送付を中止します。会報の送付も中止して下さい。
- 46回・田辺隆太郎 / 10月にもお知らせしましたが、父は特別養護老人施設にて暮らしております。旧住所には既に暮らしておりません。よろしくお祈り致します。
- 46回・富所強哉 / 夫富所強哉は2月6日永眠致しました。誰にも皆様にお知らせし上げます。尚葬儀は故人の希望により近親者にて滞りなく相済ませました。生前のご厚誼に深く感謝申し上げます。(内)
- 49回・阿部東 / 阿部東は昨年11月に亡くなりました。長い間お世話になりました。ありがとうございました。(内)
- 49回・仁保武人 / 会費納入欄が消息を知るのに役立ちます。どんな仲間が減っていくのは、寂しい限りです。最上段まで頑張りたいものです。
- 50回・佐藤剛一 / 平成23年10月17日死去致しました。(長男)
- 50回・寺田秀夫 / 幸い健康に思われ、細々乍ら診療を続けています。
- 51回・大浦映夫 / 永年の腰痛で前屈状態になり、歩行に杖だまりの生活ですが、他は格別に異常なほどです。盛会を祈っております。
- 52回・渡辺達郎 / 陶氣の発する処 金石が流る
- 53回・新谷久男 / 新谷久男は平成22年11月に死去いたしました。(内)
- 56回・麻島昌彌 / 同期の中山、松井両元とカラオケ愛好3人男で、機会を作っては大いに歌の競演を楽しんでいます。他に家事手洗い。
- 56回・井上菊雄 / 西の涯 (与那国石垣まで入れれば日本の中心) 福岡に住みたくと新潟、東京は遠い。先日、故人の伊都国糸島半島元岡から鉄の肩の道跡と新しい層を刻んだ鉄剣が出土しました。新潟中学の鉄人、新日鉄の高藤、鋼管の山城を思い出しました。
- 56回・小田荘一 / 平成22年秋、他界いたしました。生前の御厚情に御礼申し上げます。(内)
- 56回・堀見茂三 / 年令相応の日常です。
- 56回・高原哲雄 / 高原哲雄H23.8.29死去。右報告致しました。(実弟今井昇)
- 56回・成田順治 / 順治平成15年10月5日死去致しました。(内)
- 56回・松井昭五 / 終戦後間もない昭和23年3月の旧制最後の新潟中学の卒業式は、まだ寒い風が窓ガラスの破れた口から吹き込んでくる寂しいものでした。式の後の祝いの集いもなく、證書を手に家に帰ったものでした。
- 58回・坂井勝也 / 連絡が遅れてすみません。坂井勝也は今年で17回忌となります。大変な時代に学校を卒業致しましたが、同期の方々とは成人してからよく会っていましたし、家の方へも訪ねて下さいました。ありがとうございました。(妹石川雅子)
- 58回・宗村泰四郎 / いつもお世話になります。残念ながら欠席します。来年は創立120年、旧制の中学と高校が丁度半々の節目となります。感無量です。
- 59回・阿部進 / 元氣です。新潟高校のスポーツでの活躍を強く期待しています。
- 59回・茂原喜彦 / 予定が入って欠席させていただきます。ご盛会を祈念いたします。
- 59回・野村慎三 / 主人はパーキンソン病で入院の日々を過ごしております。皆様によりよくお伝え下さい。(代表)
- 59回・花井達 / 坐骨神経痛と逆流性食道炎にかり、傘寿を迎えるのはこれほど大変なことかと実感しながら、どうやら過ごしています。
- 59回・藤原幸雄 / 両足裏にシビレがあり、遠出は自重しております。ご盛会を祈念いたします。
- 59回・水沢邦弘 / 先般、東北青山同窓会が設立され、入会、出席しました。依って東京青山同窓会を退会したく連絡します。有難うございました。
- 60回・麻島正夫 / 永年を費やしたバンコクでのプロジェクトのうち、主力の2工場が未曾有の長雨によりはげ増減してしまい、私自身も幾度か欠席です。(未熟なです) 青山会の降臨は、今の私にとっては貴重な酸素ガスに他なりません。更なるご盛会を祈ります。
- 60回・石黒忠士 / お陰様で元氣にしております。東京青山同窓会の皆様様の健康を祈念しています。
- 60回・小出直 / 体調不良のため近頃ししか出掛けられません。悪しからず。
- 60回・小林吾郎 / この日は年令総計496才。(兄妹3夫婦人の総年寿)の兄妹会を新潟市で行い、それにいきますので欠席致します。ご盛会を祈念いたします。
- 60回・小林満 / 今年前半メタ症で3回ほど倒れましたが、現在は元氣です。
- 60回・笹川薫 / 連絡が遅くなりました。平成22年9月11日、伯父薫は死去致しました。お世話になりました。(甥・伯父丸蔵)
- 60回・高城英雄 / 会社は整理しました。元氣であります。
- 60回・徳田浩一 / 元氣です。兩膝を楽しんでいます。
- 60回・徳部重明 / 奈良から早稲に移り住み6年や3年を過ぎ78才になりましたが、元氣に日々を送っています。
- 61回・大倉茂男 / 父、大倉茂男は本年9月に他界いたしました。(大倉徹)
- 61回・金子章 / お世話になります。よろしくお祈りします。
- 61回・駒川孝雄 / 元氣で毎日を過ごしております。ご盛会を祈念いたします。
- 61回・竹尾昇 / 医者に通うことの多くなった此の頃ですが、何とはなしに遊び暮らして居ります。今回旅行の予定あり欠席します。ご盛会を祈念いたします。
- 62回・大井栄子 / 夫、大井忠史 (60回) は平成22年6月23日死去いたしました。
- 62回・加藤隆策 / 平成23年9月13日 夫 加藤隆策は肺炎にて亡くなりました。今までありがとうございました。内
- 62回・帆刈宏典 / 11月11日より「市」制スタートです。「市」が「市」に表記変更となります。その他は変わりません。2011年11月11日午前11時、石川県内で11番目の市となります。単独市政です。47年ぶりです。
- 63回・丸山和美 / 退職後、のびりと暮らしております。
- 64回・川崎明 / 連絡ありがとうございます。盛会に出席します。訃報が1名あります。小田嶋壽一、10月6日、です。新潟の同期会員ですが、東京同期会にはほぼ毎年出席。新潟同窓会にも貢献した会員です。白鳥画伯のスポサーでもありました。
- 64回・坂井俊一 / 同期の菅野勝も出席いたします。
- 64回・坂井敬 / 新潟同期会の幹事として東京同窓会との懸け橋となって活躍された小田嶋壽一さんが10月6日に亡くなられ一同ショックを受けました。一期一会を痛感すること頃です。
- 64回・佐藤義 / 先約があり残念ですが欠席いたしました。ご盛会をお祈り申し上げます。
- 64回・清水良男 / ご盛会をお祈りいたします。第64回生出席の皆様によろしく。
- 64回・須田謙治 / 欠席します。遅れて申し訳ありません。
- 64回・田中勝男 / 毎年ご連絡ありがとうございます。夫はH22年4月28日、

- 願幹硬筆のため突然この世を旅立ってしまいましたのでご報告させて頂きま
- す。同窓の皆様くれぐれもお体大切に過ごして下さい。(内)
- 64回・川中逸 / 所用により欠席致します。盛会をお祈り致します。
- 64回・藤田三郎 / 当日の会合があり出席できません。
- 65回・山田寛 / 特に変更ありません。
- 66回・内田定寛 / いつもご案内ありがとうございます。又、ご苦勞様です。盛会を祈ります。今後とも宜しくお願い致します。
- 66回・熊谷園男 / 8月、34年ぶりに新潟に戻り住所を変更しました。長い間お世話になりました。貴会の名簿より抹消をお願いします。
- 66回・野水宏樹 / 都合により退席します。
- 67回・松井啓 / 先約あり、残念ながら欠席。元氣です。
- 69回・水橋文 / 元氣にやっています。
- 69回・渡部慶 / 幹事の皆様ご苦勞様です。宜しくお願い申し上げます。
- 70回・藤原義博 / 病氣 (腎臓病) で入院中。
- 70回・猪口孝 / ますます元氣です。新潟県立大学を盛り上げて下さい。
- 70回・福島浩 / FirenzeのFranco Cesati社よりボッカチオの大作「デカメロン (十日物語)」の原典訳語源辞典の1巻目が10月出版されました。
- 70回・渡辺允隆 / 漸く、自適なライフスタイルが見えて来た様で、後期高齢期に向かっている小生の昨今です。
- 71回・太田裕 / 10月未定院の予定ですが、11月11日なら何とか行けるのではないかと思います。出席を楽しみにハビリに努めたいと思います。一応出席とさせていただきます。
- 71回・西沢卓 / 多くの人の力を得て、地域の大きな行事を終えました。
- 71回・西尾レノ / 2012年4月28日東京表参道「カワフ・ハウス」及び5月12日新潟市「だいいーホール」にて歌とピアノジョイントコンサート開催の予定です。宜しくお願い致します。
- 72回・黒木トシ子 / 5年内に退職し現在は無職です。(多分お知らせがまだだったと思います)
- 72回・青藤俊正 / 盛会には出席のため欠席させていただきます。盛会をお祈り致します。
- 72回・富田由季 / お知らせ有難うございました。出席でお願いします。春の会は受付のお手伝い、間に合わず済みませんでした。今回はちゃんとお手伝いに行けるように、仕事が早く片付け、と思っております。9月30日の新聞で、前会長、齊藤伸雄の訃報がありました。去年の春の会会長は出席なさったことと思いますが…。あの豪快なお人柄、懐かしく、もう一度お会いしたかったと、残念です。
- 74回・古山恒夫 / ご連絡ありがとうございます。残念ながら他の行事と重なってしまいました。欠席させていただきます。盛会をお祈りいたします。
- 74回・田中正行 / 早稲田大学大学院法務研究科修士課程2年に在学しています。
- 74回・江口則男 / いつも事務局ご苦勞様です。11日の総会は予定通り出席します。よろしくお祈りいたします。
- 74回・岡村康生 / 単身先の週末市日の出の我が家は、震災で不平等下の被害を受けました。何か工事が完了して暮らしています。人の親切に感謝感謝の念いっぱいです。
- 74回・稲谷好邦 / 今年で一年を切り、少しは暇が出来ると期待していましたが逆に忙しくなり、今年は夏休みも取れず異常です。今年も総会に参加できませんが、来年の定年後はいろいろな会への参加費を目指します。
- 74回・工藤義夫 / いつもご案内ご苦勞様です。遅くなりましたが、出席させていただきます。
- 74回・熊谷典典 / 遅くなりましたが住所変更を宜しくお願いします。
- 74回・岡村修一 / 同窓会のご案内頂き、ありがとうございます。昨年引き続き、本年も参加させていただきます。
- 74回・高橋信樹 / 残念ながら大阪出張と重なってしまいました。皆様によりよくお伝え下さい。
- 74回・土屋彰義 / 総会に出席いたします。出張続きで連絡が遅くなりご迷惑おかけしました。よろしくお祈りいたします。
- 74回・西田百合子 / 総会出席いたします。受付のお手伝いもさせていただきます。5時半に伺います。
- 74回・羽生俊夫 / 夫俊夫は、一年間の病氣療養の末10月8日に亡くなりました。夫の名前を会社のホームページから (?) 探して出したのは2年前くらいでしょうか、あの時ほどで嬉しく思うようにして話してくれました。しかしあの頃から忙しくなり、お誘い頂いた同窓会には結局一度も参加できなかったことはとても残念でした。とりあえずお知らせです。(内)
- 74回・吉海正子 / 彼の予定と重複の為、今回は欠席致します。幹事ご苦勞様でごさいます。
- 74回・水島吉 / 11月11日に東京青山同窓会総会が開催されると聞き及びました。小生が日本滞在中ですので、参加したいと思っています。東京在住ではありませんので出席はできませんが参加可能でしょうか。であれば、会費などを含めて詳細をお教示頂けますか。宜しくお願い致します。
- 74回・山崎久夫 / 先月29日Bangkokから日本に戻ってきました。まだタイのSamutprakarnの我が家は洪水被害にあっていませんが、総会の頃にはどうなっているかと思うと心配です。
- 75回・山田宏明 / 「脱原発」の本を11月に出版します。タイトルは「原発・虚構の安全神話」です。
- 76回・加藤正樹 / 今回も他の予定が先に入っており参加できません。皆さんよりよくお伝え下さい。
- 76回・田中邦直 / 11日の同窓会総会に出席します。今年、社事を整理した上でメールアドレスを変更しました。よろしくお祈りいたします。
- 76回・長北学 / 11月11日、年休申請しておきました。参加の予定です。よろしくお祈りいたします。
- 76回・林誠 / ご案内ありがとうございます。11月11日の総会を欠席いたします。これからもうよろしくお祈りいたします。
- 76回・森田隆 / ご案内ありがとうございます。私は現在中国の深センに住んでいますので、同窓会には出席できません。申し訳ありません。
- 77回・石川彰 / 総会のご案内ありがとうございます。最近いつもご無沙汰で申し訳ありません。今回も、当日は財務省主計局総務課長の「平成24年度予算編成について」の講演会を都内の某会場で開催する事務局を担当してまして、当日は参加できません。
- 78回・鈴木正明 / 還暦を迎え、定年退職後、再任用で勤務を続けております。健康管理とともに資産管理に留意しています。
- 80回・長正子 / 10月0日開付です。ご盛会をお祈りしています。
- 80回・岡本道章 / 新潟をもっと発信します。新潟日報を活用して下さい。
- 81回・清水孝二 / 高校卒業以来、新潟を離れての生活が続いておますが、青森健児の絆の深さを感じる今日この頃です。盛会をお祈り致します。
- 81回・山田健 / 準備ご苦勞様です。何かあれば協力します。簡単な役を。
- 81回・崎淵博 / 同期81回山田君より連絡があり、東京青山同窓会出席

- たいと思います。よろしくお祈りします。
- 82回・森義秀 / 幹事ご苦勞様です。総会出席にてお願い申し上げます。
- 83回・佐野賢二 / ご無沙汰しております。11/11「東京青山同窓会・総会」出席の予定です。
- 83回・高山佳郎 / すみませんが欠席致します。
- 84回・緒方俊雄 / 総会のご連絡ありがとうございます。喜んで出席させていただきます。よろしくお祈りいたします。
- 87回・清水文明 / 当日は仕事のため出席できません。ご盛会をお祈りいたします。
- 89回・佐藤俊夫 / 11/11開催の総会に、初めてとなりますが出席させていただきます。よろしくお祈り致します。
- 89回・瀧川久幸 / ご案内いただきました総会の件、仕事の都合がつかず、残念ながら欠席させていただきます。
- 89回・本間裕基 / いつもお世話になっております。総会には出席致しますので宜しくお取り下さい。それは当日を楽しみにしていただきます。
- 90回・池田美寿子 / 昨年度は「中世絵巻のマトリクス」出版の紹介をさせていただきます。よろしくお願いいたします。11月11日の東京青山同窓会に出席いたします。よろしくお祈りいたします。
- 90回・森豊 / いつもご連絡有難うございます。総会、出席致します。他でお役に立ってることが全くございませんので敬白させていただきます。と。
- 92回・小倉広 / 参加致します。よろしくお祈りいたします。
- 92回・田沼晋吾 / 友人から同窓会の連絡をもらいまして今回はじめて参加したいと思つた。たぶん住所の記録がかなり古くなっていると思つたので、現住所の登録をよろしくお祈りします。(住所が変わりました)
- 94回・野崎雅恵 / いつもお世話になっております。11月の総会、急な仕事が入らないうちで欠席いたしました。
- 97回・長谷川昌也 / 5年内に退職したいと思つた。一寸した試験を控えておりますので折角ですが欠席させていただきます。お手数をおかけ致します。
- 98回・木村成志 / 11月11日に開催される、東京青山同窓会総会に出席する予定です。よろしくお祈り致します。
- 98回・三沢計治 / 連絡が遅くなり申し訳ありません。遅刻11/11に仕事が入り、残念ながら総会の方は欠席させていただきます。時間がたつては二度なに何お祈りします。総会に参加したいのですが、間に合いますでしょうか?どうぞご予定いただけますと助かります。
- 105回・角野純子 / いつも大変お世話になっております。総会の件ですが、子どもがまだ小さく手が離せないため、申し訳ありませんが欠席させていただきます。
- 105回・柳通こずえ / 残念ですが、今回は総会と仕事と重なってしまいました。とでも残念です。欠席でお願いいたします。またお会いできることを楽しみにしています。皆様よりよくお伝えください。
- 107回・小橋川嘉樹 / 一応出席するつもりです。あとは仕事の都合次第ですが、一次会途中からは参加できると思つた。ちなみに先週引越しました。
- 107回・鈴木博之 / 同期の富山君から東京青山同窓会の開催の話を伺い、ぜひ参加させて頂きたいご連絡させていただきました。お手数をよろしくお願い致しますが、メールアドレスのご登録、出席お手続きのお願い等、よろしくお祈り致します。
- 107回・富山聡仁 / ご連絡有難うございます。是非出席させていただきます。宜しくお祈りします。さて当方同期の鈴木博之氏も、入会並びに総会への参加を検討しております。直接本人から連絡がいくかと思つた。お忙しいとは存じますがご対応頂けたら幸いです。
- 108回・大桃綾子 / ご盛会を祈念いたします。
- 112回・金澤信太郎 / いつもお世話になっております。青山同窓会総会、参加させていただきます。よろしくお祈り申し上げます。
- 112回・郷夏史 / お忙しいところ失礼します。112回卒の郷 夏史です。今回の総会には出席します。よろしくお祈りいたします。
- 113回・小坂橋佑介 / 初めてメールをお送りいたします。今年度から新社会人として札幌に出てきて、先日友人経由で11月11日(金)の青山同窓会の開催を知り、ご連絡申し上げた次第です。ぜひとも参加させていただきたいと考えております。その日は会社のセミナーに参加するため、当日になって何えなくなる可能性もありますが、このような集まりを定期的に開催されていると聞きまして、今後同窓会の案内をいただければ幸いです。
- 113回・関信樹 / ご連絡ありがとうございます。出席させていただきます。
- 113回・高野祐一 / 御連絡ありがとうございます。総会に出席致しますのでよろしくお祈りいたします。
- 113回・松本康行 / 総会に参加させて頂きたいと思つた。仕事なが長引いた場合は容赦下さい。4月から東京に来ていた同期にも何人か声をかけてみました。楽しみにしております。よろしくお祈り致します。
- 114回・玉木由佳樹 / 皆様お元氣ですか?
- 115回・大村佳織 / 大変申し訳ありませんが欠席いたします。就職にともない転居いたしましたので、お知らせ致します。登録変更のほどよろしくお祈りいたします。
- 115回・本井典子 / 大変申し訳ありません。今回も仕事の都合により欠席させていただきます。盛会をお祈り申し上げます。
- 115回・山岸智美 / 申し訳ありませんが欠席させていただきます。尚、次回からご連絡は実家の方にお祈り致します。ご盛会をお祈り申し上げます。
- 117回・榎本飛鳥 / 連絡遅くなり、申し訳ありません。病院実習の都合で遅刻してしまつたかもしませんが、11日の総会に参加させていただきます。よろしくお祈りいたします。
- 117回・大竹里実 / 大学の講義のため残念ながら欠席します。宜しくお祈り致します。
- 117回・小林史佳 / お世話になっております。今回、11/11 (金) の同窓会に出席させていただきます。お返事が遅れてしまい申し訳ありませんでした。当日は楽しみにしております。どうぞよろしくお祈り致します。
- 118回・香嶋良平 / 仙台市に2011年4月から転居しました。以後実家に連絡管理いたします。
- 119回・飯田圭佳 / 平成23年度総会に出席します。よろしくお祈りします。
- 119回・高橋千生 / 連絡が遅くなり申し訳ありません。総会に出席させていただきます。よろしくお願いいたします。
- 119回・高橋梨樹子 / 大学の文化祭のため欠席します。

平成23年度 (H23.10.1 ~ H24.9.30) 年会費納入者一覧 (H23.10.1 ~ H24.4.10 現在まで)

通06回 (1名)	松井昭五	松尾克己	浅野康一	丹羽真彦	遠藤正男	関川修一	西沢芳樹	金子裕一	勝山達志
関川久子	三崎正一	丸山敏視	五十嵐信一郎	半澤弥栄子	太田裕	高橋保	浜田正継	清田甚	小林到
通08回 (1名)	山城教成	宮田庄之助	梶原哲郎	村上紀光	柄沢卓	高橋信郎	林誠	日下部朋子	小林美奈子
佐藤秋子	58回 (7名)	61回 (32名)	金川博	67回 (12名)	小飯塚豊	竹之内明	平野茂樹	白倉真澄	坂井謙一
43回 (1名)	植村未哉	安宅久憲	中村道衛	石井幹男	齊藤誠	田村栄作	古川恒一	宮村伸一	高橋美和
早船春洋	笠原忠克	安藤友憲	馬場政説	岡崎功	高橋紘生	土屋彰義	細谷洋一	83回 (7名)	田辺文
46回 (2名)	片桐欣哉	伊藤英子	村山弘義	片山忠一	西尾レン	中村義一	松野真次	相沢秀幸	中村泰
下勇	大門啓治	大橋恒夫	山田恵一	北村紘一	野崎善治	西田百合子	湯本雅恵	遠藤光郎	森豊
富所強哉	永井克孝	金子章	64回 (30名)	斉藤久美子	福井明子	山崎久孝	渡辺博史	佐藤扶	92回 (2名)
47回 (1名)	宗村泰四郎	川崎榮一	青野啓	清水雄伍	松田裕子	若林源基	渡辺拓	佐野栄二	小倉広
杉山弘治	山谷皓栄	木田満洲男	遠藤治一	寺井宏	宮村達男	渡辺洋一	渡辺雅夫	鈴木時男	田沼智子
48回 (2名)	59回 (25名)	木村政雄	大石正晃	西章	72回 (20名)	75回 (26名)	77回 (9名)	高山佳郎	94回 (1名)
石本三郎	阿部進	草間光俊	太田健治	柄沢茂	前田康久	宇田川由美	石川彰	山口虎彦	石田朋子
本間公也	石山芳昌	熊谷隆幸	川崎明	三堀浩	松井啓	大野博	片山等	84回 (15名)	96回 (1名)
49回 (4名)	板井裕	小林元雄	桑野光雄	山田尚男	三堀浩	金巻裕史	北村一雄	飯塚雅士	浜田恒平
中村廣徳	牛木素吉郎	小山達人	坂井俊一	68回 (16名)	安達賢司	黒木トシ子	桜井宗一	石塚里栄子	99回 (1名)
仁保武人	遠藤欽蔵	斉藤伸昭	坂井敬	安達雅巳	近藤正	小嶋修一	佐藤茂	太田淑子	君和田俊裕
濱博世	岡田久	佐藤敏夫	坂本昌弘	上村嶺子	齊藤俊正	小林正昭	時岡高志	岡田憲明	100回 (1名)
廣川弘	奥村繁樹	杉山由人	佐藤章	後藤林八	篠原一博	近藤正	萩野一廣	緒方俊雄	佐藤直仁
50回 (6名)	園城英二	助川孝雄	清水良男	菅野勝	小日向信光	齊藤俊正	長谷川実	唐澤亜弥子	102回 (1名)
上村光司	笠井駿	竹尾昇	須田嶺治	重野康人	小日向信光	篠原一博	山田民夫	島津孝	池田哲郎
菊部一郎	金巻久	田中宣	須田嶺治	菅又滋	菅又滋	島村礼子	78回 (11名)	杉山良子	103回 (1名)
瀬谷誠	清野孝一	田中忠夫	高橋正幸	高頭勇	高橋祐介	曾我正男	太田秀樹	関本昇吾	鷲尾英一郎
寺田秀夫	小池和男	田村文男	高見浩	滝沢猛	太刀川圭一	白鳥十三	斎藤庫之丞	田崎正巳	104回 (3名)
時田勇司	河野誠	鶴巻正義	田伏正樹	竹石肇	戸田満弘	高橋久夫	志藤洋子	田中昌夫	荒貴博
村山一	茂泉喜彦	時岡泰	田卷亮	長沼誠二	富田由李	野崎茂	篠田敏朗	堀昌樹	小島千恵子
51回 (5名)	洪水幸三	長沼雄峰	田村康一	浜田庄司	中地光子	橋爪博美	須田幸子	星野紹英	佐藤晃
市村堯	高橋晴夫	中村正春	津野慶浩	村山弘	野村耕治郎	服部昭	瀧澤道夫	丸山祐一郎	106回 (1名)
大滝映夫	高橋正利	長谷部良雄	中川純子	渡邊公夫	原絢子	萬歳信行	前田長生	渡辺裕	星野善宣
梶井功	高山昇二郎	藤田太郎	中山徳彦	渡辺千鑑	古山恒夫	深沢義和	松田元男	85回 (9名)	107回 (3名)
北村茂	長島一郎	丸山通夫	西野貢司	渡辺泰彦	渡部治子	藤縄利勝	村田光男	荒井裕子	小橋川嘉樹
千葉繁太	長橋敏雄	村岡公夫	庭山暢彦	69回 (9名)	飯村修	本田晴久	吉澤哲彦	奥村基	鈴木博之
52回 (4名)	納谷喜郎	村山健	早川周作	青木利祐	井上敏子	八木健	渡辺茂	杉林亨	富山聡仁
浅田稔	花井進	谷田部信	藤沢靖郎	小黒朋弘	鈴木厚人	山崎信行	79回 (5名)	早福博史	110回 (1名)
斎藤茂美	藤原幸雄	山田充	藤田昇三	星満	佐藤孝靖	山田宏明	伊藤毅	田中清	高橋憲正
斎藤泰五郎	山田陽一	吉川芳生	堀健次	吉川要輔	清水一男	山根英郎	小田章治	田中研一	111回 (1名)
廣川勲	吉田陽吾	62回 (22名)	池田昌之	石黒恒	65回 (14名)	樋口正臣	河正子	田村誠	酒井克直
53回 (1名)	60回 (25名)	池田昌之	石黒恒	石田寛	浅田和之	村上則彦	川上康夫	森大輔	112回 (2名)
盛山淑郎	阿部和彦	石黒恒	吉川要輔	植松敬	阿部喜久子	矢川一義	吉田英幸	山田尚美	金澤信太郎
55回 (3名)	安藤正人	池浦厚司	植松敬	内山隆之	加藤隆策	五十嵐徹	青山耕一	青木隆次	80回 (7名)
千葉繁治	池浦厚司	石黒忠士	内山隆之	加藤隆策	角家孝之	黒川徹男	安達修	長正子	86回 (6名)
中村正義	石黒忠士	金山常吉	加藤隆策	角家孝之	黒川徹男	小池健治	岩原俊介	櫛英彦	斎藤健
星健	金山常吉	河田鐵雄	河田鐵雄	小出直	小林吾郎	小林満	小田高久	尾張明美	南野伸之
56回 (19名)	河田鐵雄	小出直	小林吾郎	小林満	近藤純夫	近藤純夫	尾張明美	海部和史	乘兼浩明
赤坂長弥	小出直	小林吾郎	小林満	近藤純夫	朝比奈和三	網干道雄	尾張明美	加澤正樹	林光洋
朝比奈和三	小林吾郎	小林満	近藤純夫	朝比奈和三	網干道雄	飯島昌彌	尾張明美	賀谷彰夫	高橋直人
網干道雄	小林満	近藤純夫	朝比奈和三	網干道雄	飯島昌彌	井上菊雄	尾張明美	久住治	長沼正昭
飯島昌彌	近藤純夫	朝比奈和三	網干道雄	飯島昌彌	井上菊雄	加藤勝則	尾張明美	蔵持典与	本間英知
井上菊雄	朝比奈和三	網干道雄	飯島昌彌	井上菊雄	加藤勝則	木村直平	尾張明美	後藤徳広	荒川洋
加藤勝則	木村直平	小島直孝	近藤源也	塩見戎三	高見久義	永井喜八郎	尾張明美	小宮山信男	五十嵐和幸
木村直平	小島直孝	近藤源也	塩見戎三	高見久義	永井喜八郎	中山昭一	尾張明美	近藤修二	江口稔一
小島直孝	近藤源也	塩見戎三	高見久義	永井喜八郎	中山昭一	庭山六郎	尾張明美	近藤壽邦	大島長子
近藤源也	塩見戎三	高見久義	永井喜八郎	中山昭一	庭山六郎	藤田和夫	尾張明美	指田久美子	越野昌芳
塩見戎三	高見久義	永井喜八郎	中山昭一	庭山六郎	藤田和夫	藤田和夫	尾張明美	曾田修吉	笹川典男
高見久義	永井喜八郎	中山昭一	庭山六郎	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	尾張明美	田中邦直	玉木勝一
永井喜八郎	中山昭一	庭山六郎	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	尾張明美	田中邦直	成海孝二
中山昭一	庭山六郎	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	尾張明美	太原まゆみ	山田徹
庭山六郎	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	尾張明美	田村俊作	鰐淵博
藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	藤田和夫	尾張明美	長北学	82回 (6名)
							尾張明美	柴森秀一	歌代真人
							尾張明美		以上533名